

# 社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 年 月 日

計画の名称	半田市における下水道事業による安心安全で快適な暮らしの実現							重点計画の該当				
計画の期間	平成26年度～平成29年度（4年間）			交付対象	半田市							
計画の目標	汚水管整備を行い、良好な水環境を促進する。											
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚水管整備について、下水道処理人口普及率を85.8%（H25末）から90.9%（H29）に増加させる。</li> </ul>											
定量的指標の定義及び算定式								定量的指標の現況値及び目標値	備考			
								当初現況値 (H25末)		中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	
	市の人口に対する下水道を使用できる区域の人口の割合（下水道処理人口普及率（%）） =（下水道を使用できる区域の人口） / （半田市の行政人口）							85.8%	88.8%	90.9%		
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,210.5百万円	A	1,188.0百万円	B	-	C	22.5百万円	D	0.0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.9%

## 事後評価

事後評価の実施体制	市内部組織での評価
事後評価時期	平成30年8月
公表の方法	半田市ホームページにて公表

### 1. 交付対象事業の進捗状況

#### 交付対象事業

##### A1 下水道事業（汚水）

番号	事業種別	地域	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29			
A-1	下水道	一般	半田市	直接	半田市	汚水管整備1（乙川汚水4号幹線）	計画 実施設計、汚水管 ○250mm～350mm L=504m 実施 —	半田市					93.00	—	
A-2	下水道	一般	半田市	直接	半田市	汚水管整備2（乙川処理分区）	計画 基本・実施設計 実施 基本・実施設計	半田市					31.00	—	
A-3	下水道	一般	半田市	直接	半田市	汚水管整備3（州の崎汚水1号幹線）	計画 実施設計 実施 —	半田市					16.00	—	
A-4	下水道	一般	半田市	直接	半田市	汚水管整備4（州の崎汚水2号幹線）	計画 実施設計 実施 —	半田市					8.00	—	
A-5	下水道	一般	半田市	直接	半田市	汚水管整備5（州の崎処理分区）	計画 基本・実施設計 実施 —	半田市					17.00	—	
A-6	下水道	一般	半田市	直接	半田市	汚水管整備6（中央処理分区）	計画 汚水管 ○150mm～250mm L=8,160m 実施 汚水管 ○150mm～250mm L=8,704m	半田市					760.00	—	
A-7	下水道	一般	半田市	直接	半田市	汚水管整備7 （乙川東部処理分区始め3処理分区）	計画 実施設計、汚水管 ○150mm～250mm 実施 実施設計、汚水管 ○150mm～250mm L=2,187m	半田市					236.00	—	
A-8	下水道	一般	半田市	直接	半田市	効果的な事業実施のための計画検討	計画 調査・検討 実施 調査・検討	半田市					3.00	—	
A-9	下水道	一般	半田市	直接	半田市	汚水管整備8（南部処理分区）	計画 汚水管 ○150mm L=500m 実施 汚水管 ○150mm L=329m	半田市					24.00	—	
合計											1,188.00	999.25			

##### C 効果促進事業

番号	事業種別	地域	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29			
C-1	下水道	一般	半田市	直接	半田市	汚水管（枝線）整備1（中央処理分区）	汚水管 ○150mm L=450m 汚水管 ○150mm L=183m	半田市					22.50	—	
合計											22.50	10.93			

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C1-1	基幹事業で整備する中央処理分区の汚水管と接続した枝線整備を一体的に行うことで普及率の向上を図る。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・中央処理分区、乙川東部処理分区ほか3処理分区及び南部処理分区において污水管整備を実施し、下水道を使用できる人口の増加を図ることができた。			
II 定量的指標の達成状況	下水道処理人口普及率 (%)	最終目標値	90.9%	目標値と実績値 に差が出た要因	中央処理分区の一部について、他事業との調整により污水管整備年次を本計画の事業実施期間外に変更したため。
		最終実績値	89.0%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

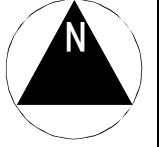
3. 今後の方針等

污水整備未施工区域の污水管整備を進め、下水道処理人口普及率の増加を図る。

(参考図面) 社会資本整備総合整備計画 事後評価

計画の名称	半田市における下水道整備による安心安全で快適な暮らしの実現		
計画の期間	平成26年～平成29年(4年間)	計画の期間	半田市

# 半田市 (汚水)



A-8 効果的な事業実施のための計画検討  
(市内一円)

A-7 汚水管整備7  
(乙川東部処理分区  
始め3処理分区)

A-2 汚水管整備2  
(乙川処理分区)

A-6 汚水管整備6  
(中央処理分区)  
C-1 汚水管(枝線)整備1  
(中央処理分区)

A-9 汚水管整備8  
(南部処理分区)

	H26～H29整備区域
	既整備区域
	下水道法による事業計画区域

